

大河津分水 可動堰改築事業 竣工式

－洪水に対して越後平野の安全度が向上－

平成26年6月29日、中原大臣政務官の出席のもと新潟県燕市において大河津分水可動堰改築事業竣工式が開催されました。中原大臣政務官は、挨拶で「この新しい可動堰の完成によって、大河津分水路の上流区間の洪水に対する能力は大幅に向上した。今後は信濃川水系全体の治水安全度を確保するため、可動堰より下流部の対策を行うことが急務であり、越後平野の治水の要となる大河津分水路改修の早期事業化に向け、地域の皆様と共に一層努力していきたい。」と述べました。

また、大河津分水改修促進期成同盟会会長である篠田新潟市長は、「新潟福島豪雨では、国が迅速に工事をやっていただいたおかげで首の皮一枚つながった。大河津分水路の本格河道の改修が一刻も早く完成することを願います。」と挨拶されました。

- 開催日時 平成26年6月29日(日) 10:00～11:00
- 会場 新潟県燕市五千石地先(大河津分水右岸高水敷)
- 主催 北陸地方整備局、大河津分水改修促進期成同盟会
- 出席者

国会議員 長島忠美衆議院議員、細田健一衆議院議員、金子恵美衆議院議員、鷲尾英一郎衆議院議員、佐藤信秋参議院議員、塚田一郎参議院議員、新潟県 知事(代理 花角副知事)、中野県議会議長、県議会議員、新潟県、篠田新潟市長、森長岡市長、國定三条市長、鈴木燕市長、市町議会議長、土地改良区理事長、地元町内会長、施工業者、国土交通省 中原国土交通大臣政務官、北陸地方整備局 等

約200名



中原大臣政務官



篠田新潟市長



可動堰のシンボルとして設置した管理橋親柱の除幕



H26.3撮影

旧可動堰の改築事業は、流下能力の向上と旧可動堰の老朽化対策を目的に平成15年に着手。

旧可動堰より堰の敷高を下げ、低水路の幅を広くし、流下能力を大幅に向上させた新しい可動堰を建設するとともに、右岸側に高水敷を造成し、洪水の流れを分水路の中央部に移すことで、堤防強化を図った。